

# あなたの「哲学エッセイ」を募集します。

『14歳からの哲学』『14歳の君へ』などの著作で多くの人々に読まれ続けている文筆家・池田晶子(1960-2007)は、日常のさまざまな出来事を自分の視点で考え、その本質を、平として表現しました。彼女は、な、大切な営みであると伝えて

# 哲学甲子園

新型コロナウイルスの危機を自分が生きていることや自分これまでにも増して切実に感じエッセイのテーマは、生か死、人、家族、規則や道徳、友情と史と人類、善悪、自然、宇宙、は何か、人生の意味、など何でテーマについて、どんな「変」機会に自分の言葉で考え、

易な言葉で哲学エッセイ哲学が誰にとっても可能

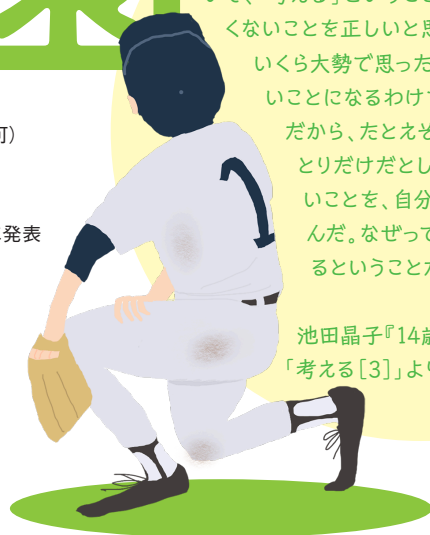
います。経験した私たちにとって、と社会との関係などが、られるように思います。

自分とは誰か、心と体、他愛情、性、孤独、社会、歴宗教、言葉、お金、幸福ともけっこうです。興味あるでもかまいません、この書いてみませんか!

…「みんな」、世の中の大多数の人は、当たり前のことを当たり前だと思って、わからないことをわからないと思わないで、「考える」ということをしていないから、正しくないことを正しいと思っていることがある。でも、いくら大勢で思ったって、正しくないことが正しいことになるわけではないね。

だから、たとえそう考えるのが、世界中で君ひとりだけだとしても、君は、誰にとっても正しいことを、自分ひとりで考えてゆけばいいんだ。なぜって、それが、君が本当に生きるということだからだ。

池田晶子『14歳からの哲学』所収「考える[3]」より



## 募集要項

- 資格 14歳から25歳の方(投稿時の年齢・氏名・連絡先を明記、匿名不可)
- 内容 400字以上の哲学エッセイ(作品にはテーマを明記)
- 締め切り 毎年10月末日到着分(消印有効・受付は随時)
- 特典 優秀作品の投稿者を「わたくし、つまりNobody賞」受賞者とともに発表表彰式で、図書カード(3万円分)を贈呈
- 方法 作品を下記住所まで郵送もしくはメール添付で送信して投稿  
「哲学甲子園」専用アドレス: [tetsugaku-k@nobody.or.jp](mailto:tetsugaku-k@nobody.or.jp)